

地域を愛し、自立と共生ができ、未来を創る子ども

直東学園ニュース

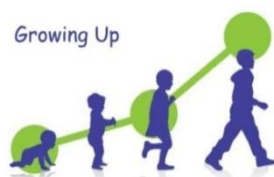
直東学園版

令和5年度 第10号
令和6年3月25日発行
＜発行・編集＞
直東学園 事務局
〒942-0041
新潟県上越市安江 282-1
(上越市立直江津東中学校内)
TEL: 025-543-2729
FAX: 025-543-4150
E-mail: higashi-cs@jorne.or.jp

教育ハンドブック

しょうがっこうそつぎょう 小学校卒業までに みに付けたい7つの習慣 しゅうかん

- 1 朝、自分で起きることができる。
- 2 家族や地域の方に自分からあいさつできる。
- 3 時間を守って行動できる。
- 4 誰とでも協力して活動できる。
- 5 自分で計画して必要な学習に取り組むことができる。家庭学習時間の目安は(10分間×学年)です。
- 6 テレビやゲームなどの時間を自分で管理できる。
- 7 学習用具の準備や宿題は、前の晩までに済ませておくことができる。



小学校入学説明会



各学校で来年度小学校に入学する児童の保護者説明会や年度末のPTA役員会が行われました。説明資料として利用いただいた「教育ハンドブック」は、直江津東地域青少年育成会議が市の補助金で作成したものです。学園内で学んでいる子どもたちの家庭を応援するための冊子で、毎年保護者の代表の方から編集に加わっていただき、より家庭向きになる様に心掛けています。その中に掲載の「小学校卒業までに身に付けたい7つの習慣」を上に乗せました。

小学校入学時から意識し、小学校卒業時には当たり前の様にできることを願っています。

直東学園 今年度を振り返って

今年度は、コロナの5類移行に伴い、5月25日に直江津東地域学園運営協議会を4年ぶりの対面で開催しました。

会議では、委員の方の顔合わせや直接意見交換ができ、1年のスタートのけじめとなりました。

承認いただいた内容で、子どもたちに元気を与える様々な活動を実施しました。



学園共通の取組：「人権教育、同和教育活動支援」

児童生徒の人権教育の推進を図るために講演会を開催しました。



「ほくら人権の日」には NAMARA 芸人ジャックポット様から手話講座をしていただきました。



子どもたちが、頑張ったところ、よかったところをメッセージに書きました。

4小学校共通の取組：「10歳を祝う会」・「マスコミ学習」

中学校を中心とした活動：「ようこそ先輩」・「立志式」

小学校

5年生「マスコミ学習」では、新潟日報とJCV（上越ケーブルビジョン）の方からお話をお聞きしました。



中学校

1年生「ようこそ先輩」には、10名の先輩からお出でいただきました。



各学校の特色ある活動：

「地域や先人に学ぶ」

色々な分野の地域や事業所の方から関わっていただき、たくさんのことを学びました。



【マクラメクラブ】



【米作り学習】



【地域の伝統芸能を守る】



【箏の学習】



【ほ場整備見学】

直江津東地域青少年育成会議 今年度を振り返って

直東学園と同様、今年度は5月25日開催の総会で承認いただいた活動を進めてまいりました。

春と秋に「あいさつ運動」を地域全体で行いました。大人が運動を盛り上げ、校舎の中、外で元気のよいあいさつが交わされました。



5月25日に総会を開催しました。

顔が見える役員紹介は久しぶりです。



毎月定例会議を開催しています。2月は来年度に向け、あいさつ運動のポスターを選考しました。



育成会議では、次の活動にも支援を行ったり、企画・運営・準備に取り組んだりしました。



【11/22 いじめ見逃しゼロスクール集会】



【12/5 先人に学ぶ 生き方講演会】



【10/30 小学校・11/1 中学校「人権教育、同和教育」講演会】



【12/6 立志式】

マスコミ学習

12月4日（月）に、保倉小学校、北諏訪小学校、有田小学校、春日新田小学校の5年生が春日新田小学校の体育館に集まって、マスコミ学習を行いました。この活動は、直江津東中学校区の小中学校がキャリア教育の一貫として取り組んでいる活動で、当日は、JCVと新潟日報からお二人の講師をお呼びして行いました。



はじめに、お二人から仕事の内容や工夫、努力等について話していただきました。子どもたちは、特に伝え方の工夫についてのお話が心に残ったようで、感想交流の場面で話をしていた子が多かったです。

次に、講師のお二人と春日新田小学校の戸田校長先生がステージに上がり、Q&A形式のてい談会を行いました。「お二人の小学校で印象に残っていること」が「様々な学校行事」と聞いて、共感してうなづく子も少なくありませんでした。「この仕事を選んだきっかけとそのために努力したこと」が「身の回りのことを人に伝えることで喜んでもらいたかったから」「自分の良さを生かしたかったから」そのために「入社前後に努力を積み重ねた」などのお話を聞いて、子どもたちは感心したり、真剣な表情でメモをとったりしていました。

講師のお二人の小学生時代や報道機関で働くための努力等のお話を聞いて、子どもたちは、今後の過ごし方や生き方が未来の自分につながっているということを感じることができたことと思います。とても貴重な経験になりました。

各学校運営協議会で

1年を振り返る活動評価が行われました。

年間を通し学校運営協議会を開催しました。すべての学校が日程に授業参観を組み、子どもたちの様子を知ることができました。



【2/6 有田小学校】



【2/16 北諏訪小学校】



【2/21 保倉小学校】



【2/27 春日新田小学校】



【3/5 直江津東中学校】

あとがき

令和6年辰年は、元日の16時10分頃、龍が地球の奥底から、飛び出したごとの能登半島地震で始まった。正月気分は人間の都合であって、地球にしてみたら、地球の都合で揺れ動くと言う当然の事を改めて知らされることとなった。

亡くなられた方々のご冥福をお祈りすると共に、被災された方々の一日も早い復興を祈念するものである。

当地においても、日頃の備えについて改めて考えさせられた方も多いのではないだろうか？一週間分の備えが必要と言われているが・・・・・・・・。